

令和 8 年度第 1 回此花区区政会議

1 日 時：令和 8 年 7 月 2 9 日（水） 午後 6 時 3 0 分～午後 8 時 3 0 分

2 場 所：此花区役所 3 階講堂 A・B・C ほか

3 出席者の氏名（敬称略）

（委員）

石橋 洋一、井出 佳子、岩見 年昭、浦野 英男、太田 安造、貝掛 英明、
金澤 房三、岸 ちず子、近藤 和美、坂本 利恵子、佐藤 是人、白井 俊幸、
晋山 倫子、菅波 裕、菅生 綾子、陶山 哲也、高田 昭子、高塚 三千代、
竹本 民子、中村 安津美、南部 辰三、畠中 恵一、平野 雄三、藤田 俊夫、
松原 幾代、水谷 敢、三好 あつ子、薮下 恵、山口 弥奈、吉田 澄江、
和田 洋一

（府議会議員）

橋本 ゆうと

（市議会議員）

たけち 博幸、今田 信行

（区役所の主な出席者）

中島 政人 此花区長

門井 宏樹 此花区副区長

桑田 直記 此花区役所総務課長

迫 修 此花区役所政策共創課長

森崎 正人 此花区役所政策共創課長代理

大津 浩仁 此花区役所地域サポート課長

和田 幸一 此花区役所地域サポート課長代理

乗鞍 健司 此花区役所安全サポート担当課長

池田 彰 此花区役所安全サポート担当課長代理

櫻田 淳司 此花区役所窓口サービス課長
花田 佳幸 此花区役所保健福祉課長
福崎 武志 此花区役所保健福祉課長代理
嶋村 洋子 此花区役所保健担当課長
長尾 尚子 此花区役所保健副主幹
福崎 順子 此花区役所子育て教育担当課長
和田 栄治 此花区役所子育て教育担当課長代理
亀井 雅也 此花区役所生活支援担当課長

4 委員に意見を求めた事項

- ・令和7年度此花区運営方針の実績・評価及び令和8年度此花区運営方針の取組状況について

5 議 事

○迫政策共創課長

皆様、大変お待たせいたしました。本日はお忙しいところ、またお暑い中、区政会議にご出席いただきまして誠にありがとうございます。

また、グループディスカッションのほうも大変お疲れさまでした。

では、早速ですが、ただいまより、令和8年度第1回の此花区区政会議を開催いたします。

私は進行役を務めさせていただきます政策共創課長、迫と申します。どうぞよろしくお願いいたします。着席させていただきます。

この区政会議全体会は公開での開催となります。本日の資料と併せて、後日、議事録を公表いたしますが、その際にご発言者のお名前と発言内容を掲載させていただきますので、ご理解いただきますようよろしくお願いいたします。

今回も議事録作成を目的として録画及び録音をさせていただきます、議事録公開までの間、本会議の様子を動画にて公開させていただきますので、ご理解のほどよろしくお願いいたします。

また、これまで準備を進めてまいりました区政会議のユーチューブライブ配信につきまして、ウェブ傍聴の希望者を募集いたしましたが、希望者がおられなかったため、今回はライブ配信を実施いたしません。

なお、この本会議では手話通訳を行っておりますので、ご発言の際には、できるだけはっきりとお話ししていただきますよう、よろしくお願いいたします。

現時点で、委員の出席人数が定数の2分の1以上を満たしておりますので、本会が有効に成立しているということをご報告させていただきます。

なお、本会議は大阪市教育振興基本計画に係ります保護者、区民等の参画のための会議を兼ねて開催させていただきます。

それでは、開会に当たりまして、区長の中島よりご挨拶を申し上げます。

○中島区長

どうも皆さん、こんばんは。此花区役所の中島でございます。

皆様、本日は暑いところをお越しいただきまして本当にありがとうございます。そして、また夜でお疲れのところ、長い真剣な議論いただきまして本当にありがとうございます。

此花区、皆様方のご協力・支援のおかげで、非常にいい区になっておると思うんですけれども、ただ、とはいえ課題が幾つかあるというのが現実でございます。その課題解決のためには、皆様の知恵、あるいは行動というもの、これ、ぜひ必要でございます。それで、またこの区政会議のいただきましたご意見、この辺をできるだけ実行につなげていきたいなと思いました。

それで、今回から少しやり方のほうを変えさせていただきました。議論のテーマをできるだけ絞り込もうということをしました。それから、絞り込んだ上で、できるだけ突っ込んだ議論をしていく、そしてまた、できるだけ具体的にしていくというような形で議論を進めていただくように、各担当課長には指示のほうをいたしましたんですけれども、いかがなものでしたでしょうか。ぜひ本日の議論、これから皆様方に発表いただきますので、しっかりと聞かせていただきたいと思います。

本日はどうぞよろしくお願いいたします。

○迫政策共創課長

中島区長、ありがとうございました。

続きまして、本日出席予定でございました橋本府議会議員、たけち市議会議員、今田市議会議員につきましては、議会对応中などによりまして遅れるとお聞きしております。

次に、議題に入る前に、資料の確認をさせていただきます。

本日、お手元に置かせていただいております資料につきましては4点ございまして、まず1点目が、令和8年度第1回此花区区政会議の次第、2点目が、区政会議に関するアンケート、3点目が、此花区政に関する意見票を置かせていただいております。最後4点目は、返信用封筒を置かせていただいております。皆様、資料はございましたでしょうか。ない方はお手を挙げてください。ありがとうございます。

区政会議に関するアンケートにつきましては、会議終了までにご記入をお願いいたします。ご記入後は提出のかごを出入口に設置しておりますので、そのかごにご提出いただきますようお願いいたします。

それでは、議題に入らせていただきます。以降の進行につきましては、議長の浦野様にお任せさせていただきたいと思っております。

浦野様、どうぞよろしくお願いいたします。

○浦野議長

皆さん、こんばんは。議長を務めます浦野でございます。よろしくお願い申し上げます。

本日はご多用の中、また暑い中、区政会議にご出席いただきありがとうございます。

本日は先ほど話にもありましたけれども、6つのテーマにつきまして、それぞれグループに分かれて話し合いをしていただきました。ここからの全体会では、皆さんに話し合っていた意見、そういったものを中心に、此花区がより豊かな充実した区になりますように、皆様の意見を取り入れて、活かしていければと思います。ここからの活発な意見交換をよろしくお願いいたします。

とはいいまして時間も時間に限りがございますので、スムーズな進行にご協力いただけたらと思いますので、よろしくお願い申し上げます。

以降、着座にて進行させていただきます。

これより行う全体会では、先ほどのグループディスカッションで集約した皆様の意見の発表や、その他、この場でお聞きになりたいことを発言していただく時間となります。ご発言の前には、ご自身のお名前をおっしゃってからご発言いただきますよう、ご協力をよろしくお願いいたします。

なお、各担当課長からの説明及び回答につきましては、時間の都合上、自席から回答させていただきますことをご了承ください。

また、本会議の終了は8時半をめどにしたいと思いますので、1グループの持ち時間は、発表、質疑応答を含めまして、7、8分程度までをお願いしたいと思います。

それでは、議事を進めていきたいと思います。

まず、地域づくり班から進めてまいります。コミュニティ活動の活性化について、地域づくり班の方は、グループディスカッションで話しした内容など、ご報告をお願いいたします。

○貝掛委員

地域づくり班の貝掛と申します。

私の班のテーマにつきましては、地域づくり班、町会の関係で新たな担い手の確保をどうしていけばいいのかと、今後非常に難しくなっているというようなテーマでございます。

もう一点につきましては、町会業務の効率化というテーマに基づいて、班のほうでディスカッションのほうをしてまいりました。

今後、町会あるいは自治会のほうに加入をどうやって進めていけばいいかということに関して、いろいろ話をしたところでございますけれども、現状、やっぱり行事とか会合とかの参加が非常に負担になっているというようなこと等がございます。そのようなことを改善するに当たって、例えば役員の当番の負担を減らすとか、それから、

歴史的、伝統的な行事は残しつつも、新たな新しい世代に合った行事をつくっていけばいいんじゃないかとか、そういった新しいことの考え方、若い人を取り入れる考え方というところを重点的にいろんな意見を出し合ったところでございます。

その中からテーマに沿って3点、まとめの回答ということでご報告をさせていただきます。

1点目につきましては、此花を魅力的なまちにするためのアイデアを各世代にアンケートを取って、町会として短期、中期、長期に取り組んでいってはどうかと。また、ご提案をいただいた方とともに取り組むことができれば、町会活動がさらに盛り上がって、広がっていくのではないかなというような考えが1点目のまとめでございます。

2点目のまとめとしまして、災害時の避難場所の運営、昨日も熊本のほうで大災害がありましたけれども、大きなこういった震災が起こったときの対応、こういったときは町会に入っとけば、いろんなことで役立つというようなこと。そういったところの町会の災害時の機能、この辺を機能してないということに関しまして、日常から見守り活動だったり、地域の美化活動、ほかのこともいろんなことをやってるというようなことを、町会が果たしてる役割を社会にとって必要なものであるということをしつかりとアピールして伝えていくということ、今後うまく広げていくことが大事じゃないかなということで2点目、まとめております。

それから3点目のまとめでございますが、情報共有ということでは今、ネットワーク関係、いろいろ変わってきてます。若い世代の方は常にスマホを見ながら、いろんな情報を取り入れておりますけど、LINEを上手に使用することで効率よく情報が伝わるということ。町会が情報などの伝達の効率化が図れるのではないかなということで、いろんな回覧板だったりするところをちょっとネットワークを使ってみるとか。いろんなLINE以外の此花区のホームページ等々もございまして、そういったところの活用だったり、情報の共有の仕方を考えていくというようなところをまとめて、今後の地域づくりにつなげていければいいんじゃないかなというような、3点のまとめでございました。

簡単ですけど以上でございます。

○浦野議長

ありがとうございました。

発言に対する回答を区役所からお願いいたします。

○大津地域サポート課長

地域サポート課長の大津と申します。よろしくお願いいたします。

まずは1点目、いろんなアイデアを各世代から取って、それを生かしていけばということなんですけども、非常にすばらしい意見だなと思ひまして、またそういった意見を取り入れることで、皆さん、地域活動いろいろやっぱり集まっていたいて、皆さんで一生懸命考えていただいていると思うんですけども、そういった情報がやっぱり1つでも多くあれば、ヒントにもなると思いますし。それで、なかなか町会に入つて、いきなりがっつりやってみようというのはやっぱりしんどいやろうなと思いますので、そういった方、できるところからやっていただくというのが、すごくこれから大事なことになるかなと思ひておりますので、こういったことを実行することによりまして、皆様の負担軽減に少しでもつながればいいなと思ひております。

あと、災害時の避難所等の運営につきまして、まさに昨日、熊本のほうで大きな地震がありまして、やはりふだんから付き合いがあるのとなないのとでは、もう全然、やっぱりああいった昨日みたいな災害が起きたときに全然違うと思ひますので、そういったメリットといったらあれなんですけども、1人でも多くの方に町会に入つていただいて、ああいった有事が起きたときに、避難所の運営のお手伝い等もしていただければいいなと思ひますので、そういったところでも皆さんの負担軽減につながればいいなと思ひております。

LINE等の活用での情報発信なんですけども、今、大阪市のほうで、大阪市全体でデジタルのスマホ等を使って、回覧のやり方であるとか、地域の情報でありますとか、そういったのを実験的に実は始めておりまして、此花区でも今年度は実証実験でやらせていただくんなんですけども。そういった実験の結果を見まして、皆さん、やっぱ

り回覧の配布とか、かなりご負担かけてると思いますので、少しでもそういったデジタルを使うことで、業務の負担軽減につながればいいなと思っております。

以上でございます。

○浦野議長

それでは、皆様の中でこちらの議題についてご意見等ある方はいらっしゃいますでしょうか。よろしいでしょうか。

それでは、次の議題に入ります。

続いて、健康意識向上や行動変容を促すための効果的な方法について、健康班の方はグループディスカッションで話した内容などをご報告いただきたいと思います。よろしくお願いします。

○菅生委員

こんばんは、すみません、健康班の菅生と申します。

私たちの班の議題は、健康意識向上や行動変容を促すための効果的な方法について意見交換をした結果、3点について発言いたします。

今回の会議の中で大阪市の特定健診の受診率というのを示していただいて、23.1%という此花区の特定健診受診率、その数字を見させていただいて、この数字がどういった世代を、どの世代を含めてしてるのかという、そういう細かい分析をしてるのかどうかというところもちょっと疑問に持ちまして、逆に言えばどの世代に働きかけをしていけば、この特定健診の受診率が上がるかという、そういうふうな意見交換にもなりました。だからターゲットを明確にしたほうがいいという結論になりまして。まず40歳から特定健診が開始になりますけども、40歳の方にアプローチが一番大事ではないかという意見も出ました。

2点目には、いろいろなイベントで手軽にできる検査、血管年齢測定や骨量検査などをきっかけに健康に関心を持ってもらうということで、まずイベントに来てもらうためには、プレゼントとかいろいろと、一昨日の健康エキスポですかね、あのときもかなりブースでいろいろなプレゼントを頂きましたけども、そういったことで検査も

受けたりとか、無料でいろんなことをしていただきました。だからそういう場所に、イベントに参加することによって、また健康のことも相談できますし、いろんなアピールも聞かせていただくということで、手軽にそういうイベントに参加できるようなきっかけづくりが、自分の健康に関心を持ってもらうきっかけづくりをつくっていこうということで、いろんなイベントを大事にしていったらどうかということの意見が出ました。

その上で3点目、特定健診の内容。やっぱり特定健診がどういった内容、中身はどんなんかということを知らない方もいるんじゃないかということで、特定健診の内容や無料であることをアピールしていってはどうかということで、繰り返しですけども、特定健診に関しては、この3つのちょっと絞り込んだ意見として皆さんの意見が出ました。

以上です。

○浦野議長

ありがとうございました。

発言に対する回答を区役所からお願いします。

○嶋村保健担当課長

保健担当課長の嶋村と申します。ご意見どうもありがとうございます。

グループディスカッションのほうではお答えすることができなかったんですけども、今ちょっとお調べしてましたら、40歳代の方の受診率が低く、年齢が上がるにつれ、受診率も上がっていくことから、ご提案のとおり、まず受診できる年齢となる40歳へのアプローチが必要かなと考えております。そちらのほうへアプローチできるように、区内の様々なイベントを含め、皆様のご協力をいただきながら進めていきたいと考えます。イベントにつきましては、ご意見いただいたとおり、手軽にできる検査などを引き続き行いながら、健診内容でありますとか、現在医療にかかっている方も病院での検査のうちの1回を特定健診として無料で受けていただけるようにお知らせできるように進めていきたいと考えておりますので、どうぞよろしくお願いいた

します。

○浦野議長

それでは、皆様の中で、こちらの議題についてご意見等ある方はいらっしゃいますでしょうか。よろしいでしょうか。

それでは、続いて、地域福祉を進める人材をいかに確保・育成していくかに関して、福祉班の方はグループディスカッションで話した内容などをご報告お願いします。

○金澤委員

それでは私、福祉の班を担当させていただいております金澤でございます。

私たちの班の議題といたしましては、地域福祉を進める人材をいかに確保・育成していくかということなんですけども、なかなか初め、1番といたしましては、この今、時代に入りまして、高齢化がすごく進んでまいりまして、結局、皆、今の高齢の方でも、私が老人会に入会させていただいたときは70歳でした。しかしながら、今はもう80過ぎが皆、1つのクラブとしてやっております。そういうことで、今現状といたしましては、独り暮らしの方が非常に多いということです。これをやはりいろいろ福祉ということで、まだまだ分からん方が、福祉いうたら何をしてくれるんだということもありまして、それを皆さんと相談しながらやっていかなければならないと思います。

そして2つ目には、ボランティア活動が課題で、後継候補にいただいていく工夫をしていきたいと思っております。やはりこれもボランティア、ボランティアと申しましても、なかなか皆さん、集まって会合をするという場所が高齢化になってきまして大変やと思います。またもう一つは、憩いの家とか子ども食堂、こういうところで子どもたちもやはり我々といたしましても大事でございまして、これからボランティア活動に参加できるような一定の時間の行事を相談していきたいと、工夫があればと考えております。

なかなか言いましても、この昔の20年前の時代と今の時代とはなかなか変わってまいりまして、皆さんとどのようにして手をつないでいくということかなというと、

そしてこれからの人生を暮らしていくためには、何というても健康が大事ですので、福祉の中でやはり健康を一番に大事にしていきたいと思っております。

以上でございます。

○浦野議長

ありがとうございました。

発言に対する回答を区役所からお願いいたします。

○花田保健福祉課長

こんばんは、此花区役所保健福祉課長の花田でございます。よろしくお願いいたしますします。

ご意見いただきましてありがとうございます。今ありましたように、退職年齢が高まっております、なかなか地域のほうに、働いておられた方が地域のほうでデビューをする、活動をする、活躍をしていただくというのがだんだんと年齢が上がってるというのが非常に課題だと思っております。

そういった中で、ご意見いただいた広報について、もっと紙媒体での広報が必要じゃないかということもグループディスカッションではいただきました。ボランティア活動に関する広報、あるいは福祉の施策に関する広報につきまして、紙媒体等、媒体の在り方も含めて、伝わる広報というのに努めてまいりたいと考えております。

また、もう一点は、ボランティア活動に参加いただく方が参加しやすく、最初のハードルを下げるためには、憩いの家等の一定の場所、時間帯で常駐をして、そちらのほうにリーダーさんというか、地域の方に常駐していただいて、そこにボランティアさんが行きやすいような仕組みをつくるべきじゃないかというご意見をいただきました。これにつきましても今後、このはな地域見守りタイ事業の見直しの中で検討してまいりたいと考えております。

以上です。ありがとうございます。

○浦野議長

それでは、皆様の中でこちらの議題についてご意見等ある方、いらっしゃいますで

しょうか。よろしいでしょうか。

それでは、続きまして、子どもたちの体験格差をどのようにすれば解消できるのかに関して、子ども班の方はグループディスカッションで話した内容など、ご報告お願いいたします。

○和田委員

子ども班の和田洋一と申します。

私たちの班の議題、子どもたちの体験格差をどのようにすれば解消できるかについて意見交換をした結果、3点について発言いたします。

幾らコマーシャルをしても親の元に届いていないのではないか。学校へ掲示してるのを見て、面白そうと思っても忘れてしまう。学校に協力してもらって、先生にチラシのコピーをもらうとか、学校の例えば玄関とかにそのチラシを貼ってもらって、みんながいっぱい目を通せるようにしてもらうのはどうかという意見がありました。

その他、体験について、1回だけの体験ではなくて、例えば区役所の正面の花壇にお花を植えて、親子で世話してもらって、成長過程を親子でずっと見守りながら世話をしていく、そういう体験もどうかというのと。

あともう一つ、子ども会さんが西九条で菜園を借りていて菜園体験をしております。子ども会以外にも参加を広げているそうなんです、たくさん体験を子どもたちしてもらいたいと思っているそうで、どんどんコマーシャルしていきたいなということです。やはり都会の子は水やり、土いじり、収穫を体験する経験がないと思うので、こういう体験もしていけたらいいんじゃないかなという意見がありました。

あと3点目ですが、西島の子ども祭りのような子どもがたくさん参加できるような、たくさん参加する取組が此花区全体のお祭りとして広がればいいなという意見がありました。

私からは以上です。ありがとうございます。

○浦野議長

ありがとうございました。

発言に対する回答を区役所からお願いいたします。

○桑田総務課長

こんばんは。総務課長の桑田でございます。

区役所の花壇のところにつきましてお答えを申し上げます。区役所花壇につきまして、まずご提案いただきまして、誠にありがとうございます。此花区の課題、テーマ、様々ございますけれども、その中で今年度は此花区といたしまして環境にも力を入れていくということで、その一環といたしまして、この春ですけれども、区役所の花壇の正面のところにチューリップの花を植えたところでございます。区役所の前の花壇といいますのは、まさに玄関前の庭といいますか、まさに顔とも言えるところでございますので、大変重要なものと認識しております。

今後、例えばチューリップに限らず、先ほど、それぞれの季節を感じていただけるような草花とか、あと親子の体験のところの要素もご提案いただいたと思いますので、こういった形ですばうまく充実できるか、一度区役所内で研究をしてまいりたいと思っております。

また、いずれにいたしましても、区役所花壇をさらにきれいにしていく方向で取り組んでまいりたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

続いて、子育て教育のほうからお答えさせていただきます。

○福崎子育て教育担当課長

子育て教育担当課長の福崎です。ご意見ありがとうございます。

1点目なんですけれども、お花の水やりであったり土いじり、収穫を体験するのがよいというご提案についてなんですけれども、先ほど総務の桑田のほうも話があったように、今、区役所で進めています企業と連携した体験のイベントだけではなくて、区役所などの身近な空間とか、子ども会さんの菜園活動など、今ある活動を使って日常的な生活を少し膨らませるような体験についてもぜひ進めていきたいと考えております。

2点目の子どもたちのイベントの広報についての伝え方についてなんですけれども、

先ほどご提案がありましたように、先生にチラシのコピーをもらうのはどうかであったりとか、学校にも協力をしてもらって、学校の玄関にチラシを貼るであったりとか、懇談のあるときに配ってもらうなどといった具体的なご提案を委員の方からいただきましたので、その意見を基に、保護者に必要な情報が分かりやすく届き、参加してもらえるような工夫を学校さんらと協力をして進めていきたいなと考えております。

3点目なんですけども、すみません、ちょっと代わります。

○大津地域サポート課長

地域サポート課長の大津です。

西島の子ども祭りのような取組を此花区全体で、あれ、西島地域でやっていただいている子どもカーニバルですかね、あれを全体でみたいな、何かそんなイメージですかね。

○坂本委員

言われてたのは夜店と花火大会のことだと思います。

○大津地域サポート課長

分かりました。こちら8月8日に西島のほうでやっていただきますけど、ちょっと区全体でできたらということで、ごめんなさい、今、即答できませんけども、ご意見ありがとうございます。検討させていただければと思います。よろしくお願いします。

○浦野議長

それでは、皆様の中でこちらの議題についてご意見等ある方、いらっしゃいますでしょうか。よろしいですか。

それでは、続いて、個別避難計画の策定に関して、防災・環境班の方はグループディスカッションで話した内容など、ご報告お願いいたします。

○平野委員

着座で発言させていただきます。防災・環境班の平野と申します。

私たちの班の議題、個別避難計画の策定について意見交換をしました結果、大きく3点について発言をさせていただきたいと思います。

まず、個人情報提供不可の人が多いので、理由を分析する必要があるのではないかということであります。この表にありますように、此花区で把握されておられる避難行動要支援者数が3,835名おられまして、そのうちの67.3%に当たる2,582名の方が個人情報の提供を不可とされている現状がございます。

それで、不可の方に対して同意がもらえるシステムを検討していく必要があるところではありますが、この個人情報不可の方の理由が明確ではない。例えば、非協力的なだけの方であったり、あるいはもう既に身内の方やご近所の方が援助をするというような約束ができての方がおられたりで、回答をいただけてない理由がはっきりしていないので、2,582名全てが拒否をされてるという状況にはないのではないか、まず分析が必要であるのではないかというところが1点目でございます。

次に、お手元の資料の中で言いますと、次世代型要支援者救護システムというものの説明を、この担当課のほうからご説明いただきました。その中でプライバシーの保護の問題がやはり問題になってくるのではないかとということで、現在の安否確認システムでいくと名前が出てきてしまう、個人名が出てくるということに抵抗感があるのではないかとということで、システムの今改善をしていこうということで区のほうで取り組んでいかれることの話聞いておりますけれども。

そういった中で携帯電話のアプリを使用してIDを登録して、氏名等が出ないような形で個人情報を守っていったらどうかということの説明がありました。ただ、2点目としては、このIDだけで助けてほしいという人を特定できるのかどうか。システムの言うところと100メートル半径の中で、援助できる人も登録していただいた中で、その方がID登録した方のところへ援助に向かうといったところで、最終的にこのIDの点滅しているところの特定ができないのではないかと、最終的にどの方が該当する方が分からないような状況の中で、果たして的確な救助ができるのかどうか、その点が若干問題ありきかなというところが2点目で話し合いました。

次に、災害時だけでなく、このIDを使ったそのシステムを有効に利用していただく方にご理解いただけるような、進んで情報提供していただけるようにするには、

災害時だけでこのシステムが発動することではなくて、平常時から区政の情報なども、特に難しい情報ではなく、親しみやすい情報を提供していただくようなシステムと連動して利用者を増やしていければいいのではないかといいた 3 点目の発言とさせていただきます。

それで、委員の皆さん方はこの次世代型要支援救護システムについて、非常にいいシステムではないかなということで、皆さんの総意がございましたので、区として早い時期にシステム化を図っていただいて、多くの方を救えるような体制をつくっていただきたいということでございます。

以上でございます。

○浦野議長

ありがとうございました。

発言に対する回答を区役所からお願いいたします。

○乗鞍安全サポート担当課長

こんばんは、安全サポート担当課長の乗鞍です。よろしくお願いします。

まず 1 点目の、個人情報提供不可の方が多いので、理由を分析すればどうかということに対しまして、おっしゃるとおりです。我々ちょっと個人情報を提供いただいた方に対して、個別避難計画の策定というのを進めておりました。おっしゃるとおり個人情報不可の 2,582 名ということで、全体の 3 分の 2 ぐらいの方が不可ということになっておりますが、実際、ちょっと深掘りできてるわけではございません。どういった理由で個人情報を提供できないのか、してもらえなかったのかというところは分析できてないところでございますので、今後その分析はしていきたいと思っております。

2 つ目は、次世代型の防災アプリということで、これはあるわけではないんです。あくまで個人情報が提供できないという課題がございますので、事業者からそういったことに対して、こういったアプローチでできないかというような提案を今いただいている段階で、今現在、こんなものがあるわけではなくて、その提案に対して、どうい

ったところをもっとこうすればよくなっていくのかなということで、実証実験ができればということで今進めてるところでございます。

その中身で、当然個人情報のところがネックになってるところがあって、なかなか個人情報を求めると登録してくれないという方も多くございますので、例えばID番号化ということで、個人情報じゃない番号、特定できない番号にすることによって、よりシステムに登録してもらいやすくなるのではないかとこのところの内容になっております。

グループディスカッションのほうで当然意見が出たのは、実際、近づいたところまではいいんですけども、実際名前が分からなければ声かけれない。おっしゃるとおりかなと思ってます。その辺は何かしら個人情報がわからない程度で工夫できれば、提案できるかなと思っております。

あとは災害時ではなくて、平常時から使えるようにしてはどうかというところ、これもおっしゃるとおりで、災害時のみであれば、なかなかずっと使う機会はございませんので、通常時から使えるようなアプリということで有意義にできるのではないかと考えてます。例えば町会の回覧板で活用するとか、いろんなやり方をすることによって、通常時に使いながら災害時も生きてくるといような中身になるのかなということでしたので、なかなかいい意見が出たのかなと思ってます。

回答は以上になります。

○浦野議長

それでは、皆様の中でこちらの議題についてご意見等ある方はいらっしゃいますでしょうか。どうぞ。

○和田委員

すみません、和田と申します。

IDだけ登録ということでしたけども、例えばIDプラス、ニックネームを入れてもらうとかという登録はないんでしょうか。そうすれば、例えばこの場所に行ったときに、その人の登録されてるニックネームを呼ぶとかというので呼びかけができるか

なと思いました。

○乗鞍安全サポート担当課長

ありがとうございます。その辺、全然気づきませんでしたので、一度、提案していただいた事業者に、その辺の工夫も踏まえて提案していきたいと思います。ありがとうございます。

○浦野議長

ありがとうございます。よろしいですか。

ほかに何かご意見ある方。どうぞ。

○白井委員

白井と申します。

先ほど出た I Dの方を特定するということなんですけれど、通常時に特定ができるようになってきますと、その家庭、家の状況というものがほかの人から通常るときにもう分かってしまうと。家庭状況が分かること自体が嫌な方がいらっしゃるんで、その辺は一律に考えないほうがよろしいんじゃないかと思いますので、何らかの状況を通常時でも分かってもいいようなことを、その方に了承していただいておりますというふうには思います。

○乗鞍安全サポート担当課長

ご意見ありがとうございます。ちょっと補足だけさせていただきますと、表が今、手元にあるのかどうか分かりませんが、I Dが一応附属されるんですけども、緊急のアラームが、地震が起きました、結構けたたましい音がいっぱい鳴るかと思うんで、災害の起きたときにはすごい緊急アラームが鳴るかと思います。そういったときに I Dで助けてくださいというボタンを押せば、地図上に I Dが浮かび上がるというようなシステムになってますので、通常時は何も表示されないということになってますので、助けてほしいというような発信をした場合だけ、本来だったら名前が出るところが I Dが出るというようなイメージになってますので、ふだんはあまり個人情報はどうこうということはないのかなと思っております。

○白井委員

先ほど、通常時にも関わり合いたいというお話が出たものですから、それで関連質問として話をさせていただきました。

○乗鞍安全サポート担当課長

ありがとうございました。

○浦野議長

ほかに何かご意見ございましたら。よろしいでしょうか。

それでは最後になりますけども、此花区公式LINEから配信する効果的な情報についてに関して、魅力創出班の方はグループディスカッションで話した内容をご報告お願いいたします。

○佐藤委員

魅力創出班の佐藤と申します。着座にて失礼いたします。

私たちの班の議題、此花区公式LINEから発信する効果的な情報について意見交換をした結果、以下の点について発言いたします。

私たちの班では、見つけやすい情報、タイムリーな情報、さらに詳しく調べられる仕組み、地域情報の集約と発信が此花区公式LINEをより魅力的で利用しやすいものにするために重要であることということで意見がまとまりました。

次に、見つけやすい情報としては、例えば夏祭りや盆踊りなど、子どもから高齢者まで幅広い世代が関心を持つ行事であり、LINEで積極的に発信することで、登録者の増加にもつながるのではないかという意見がありました。現在もイベント情報は掲載されていますが、ホームページの階層が深く、目的の情報までたどり着くのが少し分かりにくいという声がありました。そのため、LINEを開いた時点で、何月何日、どこどこ神社お祭りなど、ほかには何月何日、どこどこで地域盆踊りといった形で、日付順に一覧表示されるようにすると、利用者にとって非常に分かりやすくなるのではないかという意見が出ました。

次に、タイムリーな情報ということで、イベントが急遽中止や変更になった場合は、

その情報をタイムリーにＬＩＮＥで配信してほしいという意見がありました。実際に中止を知らず、会場に行ってしまったという経験も紹介され、ＬＩＮＥは迅速な情報発信という点で大きな役割を果たせるのではないかという話になりました。

次に、地域情報の集約と発信ということで、こども食堂や地域行事などの情報は、他地域ごと、個別で管理されていることが多いため、それらの情報を区役所が集約し、タイムリーに公式ＬＩＮＥで発信できる仕組みがあるとよいのではないかという意見がありました。例えば、今週末はこちらの地域でイベントがあります。来週は別の地域で開催されますといった形で継続的に情報を届けることで、地域を超えてイベントに参加するきっかけにもなり、地域の交流促進にもつながるのではないかという意見でした。

以上、発言とさせていただきます。よろしくお願いいたします。

○浦野議長

ありがとうございました。

発言に対する回答を区役所からお願いいたします。

○迫政策共創課長

政策共創課長、迫です。ご意見ありがとうございました。

今、ＬＩＮＥについていただきました意見につきまして、例えば時期的なものもあります。祭りの日程とか、子ども食堂の開催日程、あるいは各地域での事業の周知などもしていただきたいということでしたので、いろんなイベントがございますので、それをタイムリーに発信できるように、それぞれの区の所管の担当とも協議してまいりたいと思います。

区のＬＩＮＥから区のホームページへと移れるのですが、その区のホームページの階層が深く見つけにくいというご指摘もございましたので、こちらについても分かりやすい配置になりますように改善してまいりたいと思っております。

区が行う、地域の方の行うそれぞれ各種のイベントについても、見やすい一覧になりますように、こちらの表示も工夫してまいりたいと思っておりますし、発信したイ

ベントにつきまして、中止や変更などございましたら、こちらにつきましてもタイムリーに発信していきたいと思います。

以上でございます。

○浦野議長

それでは、皆様の中でこちらの議題についてご意見等ある方はいらっしゃいますでしょうか。

ないようでしたら、その他、全体を通してでも結構ですけども、ご意見ある方。よろしいですか。

ぼちぼちいい時間になってきましたので、短い時間でしたんで、なかなか意見も言えないという部分もあったと思いますけども、ほかにご意見などある方は、本日の配付資料に此花区政に関する意見票がありますので、後日、返信用封筒で事務局までご提出いただきますようお願いいたします。

それでは、これまでの意見に対しまして、中島区長よりご発言お願いいたします。

○中島区長

どうも皆さん、本当に真剣で真摯な議論、どうもありがとうございました。本日いただきました議論、これ、できるだけ実行していきたいなと思ってございます。

ただ、本日の議論する時間、限られた時間でもございましたし、今日あまり今まで考えてないよという方もいらっしゃるかわかりませんので、ぜひ言い損ねたねということがありましたら、担当の課長に言うていただけたらありがたいなと思ってございますし、また本日議論いただきました以外の班に対しても、私やったらこうしたらええと思うやとか、こんなふうにしたらどう？という意見がありましたら、ぜひ遠慮なく、私でも、ここにおる政策共創課長でも、誰でも結構でございますので、伝えていただければなと思ってございます。

また、実行するに当たりまして、よりもう少し深めていかんとあかところ、これまたたくさんあるかなと思ってございますんで、本日だけの議論に終わるのではなく、皆様にも必要に応じてもう一度、こういうふうにするにはどうしたらいいでしょうね

というような形で、もう一度再ヒアリングさせていただく場合もあるかと思います。
ぜひ、またその際はご協力のほうをいただけたらありがたいなと思ってございます。

ぜひ皆様とともに、此花区、いい区でございますけども、さらにもっともったいい区、住むのはやっぱり此花区と言われる区に皆さんとしていきたいなと思ってございますんで、今後とも皆様のご協力、ご支援、そしてさらにお知恵、これを拝借したいと思います。よろしく願いいたします。本日はどうもありがとうございました。

○浦野議長

ありがとうございます。

それでは最後に、議員の皆様、おそろいでございますんで、最後に皆様からのご助言いただきたいと思います。まず、橋本府議会議員から。

○橋本府議会議員

大変申し訳ございません。来て、何か挨拶しに来た、選挙活動しに来たみたいに見えるたらちょっとあれですけど、本当にお疲れさまでございました。今日の議論は残念ながら拝見することができなかったんですけども、後で振り返りはしっかりさせていただきまして、また皆様のご意見というところ、私、府議会議員ですので、府政のほうで、特に河川であるとか、警察関係というのは府の役割ではありますので、このあたり中心にしっかりと前に進めていけるように尽力させていただきますので、引き続きよろしく願いいたします。

本日はご苦労さまでございました。

○浦野議長

ありがとうございます。

次に、たけち市会議員、いかがでございましょうか。

○たけち市会議員

皆さん、こんばんは。本日も本当に遅い時間までありがとうございました。私自身も遅れて来させていただきまして、すみません、大変遅くなりまして申し訳ございませんでした。ちょっと会議が長引きまして。

今日の議論、まだまだ聞けてないんで、本当にしっかりまた後ほど聞かせていただきたいと思ってます。

この間、この区政会議に当たっての、もともと事前のシミュレーションといいますか、様々なプレゼンを区役所のほうから受けておりまして、その際にお伝えさせていただきました。皆さん、ご存じのとおり、やっぱり此花区につきましては、防災の面が一番重要なところでもございます。水害に弱いまちと言われてるところもあって、この間、津波避難ビルであったりとか、私自身も企業の皆さんにお願いしたりとか、区役所のほうにも何とかお願いできたという形でも進めさせていただいてきましたけども。

本当に今、区長中心になって、ウェルビーイング会議みたいな形で、様々な地元の企業だったりとか、地元だけじゃない企業の皆さんと、そして区政と今、共創という形で、共に創るという形でいろんなことにチャレンジしていただけてます。ソフト面で様々な課題解決とか、様々なことを進めていただけてるところですけども。

ちょっと提案させていただいたのは、やっぱり前にももしかしたら区政会議でお聞きされたことがあるかもしれないんですけども、災害っていつ起こるか分からないんですね。だからお昼に起こったら、じゃあ例えば町会が、町会員を増やすというような活動もしてますけども、町会員がどれだけ増えてもお昼にほとんど人がいないという状況だったら、じゃあ誰に助けてもらうんだ。自助、共助でほとんど支えていけないといけないのに、誰に助けてもらうんだというところになってくるかと思います。そういったところに本当に必要なのが地域活動協議会という概念であって、この地域活動協議会という概念は何かといいますと、地元の企業、一緒にそこの中に入ってくるわけなんですね。町会ももちろんですけども、地元企業も入ってくるというところでいいまして、まさに民間企業の皆様方との共創というところに、ぜひとも防災という観点を入れていただきたいとお願いさせていただいたところでございます。

本当に皆様方がふだん此花区において生活をされてる中で、様々なご活動をいただいている中で、お気づきになられること、たくさんあるかと思いますが、また私自身

もその声をしっかり、区政はもちろんのこと、市政にも届けていきたいと思いで、これからも引き続きよろしくお願いいたします。

本日は本当に遅い時間までありがとうございました。

○浦野議長

ありがとうございます。

続きまして、今田市会議員、よろしくお願いします。

○今田市会議員

皆さん、こんばんは。本日はありがとうございました。私も遅参しましたので、子ども班のところからお話をお伺いしました。しっかりまた全般的に確認して、区役所、また大阪市政のほうに届けてまいります。

先ほど、たけち議員も言われましたけれども、熊本の地震が本当に昨日発災して、そういった意味では、以前も実は2年前に能登の地震があったとき、区役所のほうには、皆さんの意識がすごくあるうちにしっかりと周知、また個別避難計画においても、もちろん個人情報という1つの壁はあるんですけれども、やはり意識が高まっているときは、皆さんもやはり何かしないといけないかなと思っていただけるタイミングですので、こういったタイミングで、しっかり行政として皆さんのほうで、こういったなかなか進まない問題に対しても取組を進めていく必要があると思っております。

それに合わせて、このLINEの広報という分に関しましても、先ほど様々ご意見をいただきましたけれども、やはり皆さんが行政の情報を一番欲しいと思われるときに、区役所としてもしっかり取り組んでいただきたいと思います。

あとは皆さん、地域のほうでいろんな方に関わっていただいている方ですので、この熊本の地震があって、今後課題になってくるのは、避難場所が本当に今、停電とか、そういったことで困っているというようなことがどんどん表に出てきます。今、大阪市では、小学校の体育館へのエアコンの設置を進めております。そういった中で来年度中に全小学校につけて、一部スペースのない学校には、停電時、なかなか使いにくいエアコンなんですけれども、通常の普通の小学校に関しては、大半の小学校に関して

は、停電があっても使えるエアコンを設置していくということで今、進めておりますので、ぜひお知りおきいただければなと思っております。

我々、たけちさん、また橋本さんと力を合わせて、皆さんの声をしっかり行政に届けてまいりますので、よろしくお願いいたします。

本日はご苦労さまでした。

○浦野議長

ありがとうございました。

長時間になりましたが、皆様のご協力によりまして会議を円滑に進めることができました。

それでは、これで議長を降壇させていただきます。ありがとうございました。

○迫政策共創課長

浦野議長、どうもありがとうございました。

閉会に当たりまして、事務局からご案内がございます。配付資料の此花区政に関する意見票につきましては、本日いただいたご意見以外にもご意見等がございましたらご記入いただきまして、お手数ではございますが、8月21日、金曜日までに返信用の封筒にてご提出いただきますようお願いいたします。

また、冒頭でご案内いたしました区政会議に関するアンケートにつきましては、ご記入の上、回収かごまでお願いいたします。

なお、頂戴しましたご意見等はホームページでも公表させていただきますので、ご了承ください。

それでは、以上をもちまして、令和8年度第1回此花区区政会議を終了させていただきます。どうかお気をつけてお帰りください。どうもありがとうございました。

(閉会)